

ストーリーキャンプ ～きみも名探偵！！～

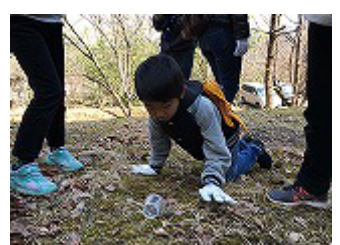
3月26日(土) ～ 3月28日(月)

IN 兵庫県立南但馬自然学校

| | 午前 | 午後 | 夜 |
|-----|--------------|-------------------|---------------------|
| 1日目 | 施設に向け出発 | オリエンテーリング 野外炊飯 | 野外炊飯 証拠探し① |
| 2日目 | 証拠探し② | 推理結果発表① 証拠探し③ | 推理結果発表② キャンプファイア |
| 3日目 | 清掃 思い出出工作 | 施設を出発 解散式 | |

一日目：今回は「探偵」として、皆さんに様々な謎を解いていただく内容となっております。みんなは謎を見事解き明かすことが出来るでしょうか？施設の最寄り駅まで電車で向かい、全員集合しました。人数は少し少なめですが、それでも元気いっぱいのメンバー達。広場があると走り回るほど元気が溢れていました。集合後グループに分かれ、みんなで歩いて施設まで向かいました。およそ50分の道のりでしたが、明るく、楽しく、和気あいあいと歩いて行きました。到着後すぐに昼食を取りました。道中で既に仲良くなり、昼食中も会話が途切れることがありませんでした。昼食後は、施設内に点在する文字を見つけ、暗号を解きゴールを見つける『散策オリエンテーリング』を行いました。文字を見つけ、2つのヒントをもらい、みんなで暗号を解いていると、「わかった！」と閃かれている方が沢山おられました。探偵への第一歩を踏み出されたようです。全員無事にゴールにたどり着くことが出来ました。夕飯は野外炊飯で、定番の『カレー』です。各グループ「カレー」、「ごはん」、「かまど」と3つの係に分かれて作りました。カレー係は野菜を切り、肉を分けました。ごはん係は冷たい水に負けずに何度も洗い、ちょうどの水加減を調整しました。かまど係は煙に負けずにひたすら火を起こし続けました。力を合わせた結果、思った以上に早く作ることが出来、味はもちろん美味しく、みんな大満足そうでした。片付けも、作る時と同様に手早く、施設の方のチェックも完璧に終わらせる事が出来ました。生活棟に戻ると、みんなが食後楽しみにしていたプリンを誰かに食べられており、一人のリーダーが疑われました。しかし、探偵リーダーを含め、みんなは違うと信じ、それを証明するために推理し、証拠を集め、みんなで様々な可能性を考えました。明日からは本格的に捜査に動き出します。みんなの探偵としての力が楽しみです。

二日目：昨日の出来事から一夜が過ぎ、朝から本格的な推理捜査が始まりました。朝食を済ませ、生活棟周辺や、棟内、そして、疑われている、また疑いのある人へ質問聴取を行いました。みんなの目の付け所は鋭く、小さな手がかりから様々な可能性を見つけ出し、それを一つ一つ確認しながら推理を進めました。一日目の夜に探偵リーダーから「証人」、「証言」、「証拠」を揃えないといけない事をしっかりと踏まえ、疑問が浮かぶと非常に丁寧に動かされていました。昼食を挟み一回目の推理発表会を行いました。各グループ独特な推理予想をされ、他のグループの推理に質問されたり、付け加えたりされ非常に白熱した発表会となりました。発表会の後も確認



となるものが見つかりません。証言から山の搜索となりました。そこで新たな証拠を見つけ、新しい推理が次々と思いつかれました。夕食後、最終推理発表の時間です。夕方にグループの垣根を越え、みんなで話し合った可能性の実験を行いました。すると、実験は成功し、みんなの推理から一つの結果が見事立証されました。その後、お祝いの意味を込めて、みんなで楽しくキャンプファイアを行いました。走ったり、沢山体を動かしたりする内容があまりなかった為、ここぞと言わんばかりにどのレクリエーションでも激しく、全身を使って楽しめました。夜はキャンプファイアの疲れと日中の推理からかすぐに眠られました。



三日目： 朝から片付けや荷物の整理に追われながらもテキパキと動かしていました。朝食は『棒焼きパン』です。棒にパン生地を巻き付け、火にあて、熱で焼きます。徐々に焼き目が付いてき、美味しそうな匂いもしてきました。それでも焼きあがるまで辛抱し、しばらくすると美味しいパンが出来上がりました。ジャムやケチャップ、マヨネーズなどお好みでトッピングし、バナナとジュースを添えて、笑顔いっぱい食べておられました。食後、片付けの続きをし、それが終わると『探偵バッチ』を作りました。手頃な太さの丸太を拾って来て、サイズに切り分け、紙やすりで表面を整え、表にマジックやポスカで絵や文字、今回のキャンプの思い出を描きました。最後の食事を食堂で済ませ、作った「探偵バッチ」を左胸に付け、みんなで写真を撮り、施設を出発しました。帰りは特急で帰ったので行きより早く帰る事が出来ましたが、みんな疲れていたのでしょう、席に座るなりすぐに休まれてしまいました。三ノ宮で全体解散し、各集合場所へと向かいました。



<キャンプ総括>

今回のストーリーの内容は、一方的にストーリーを進行させるのではなく、メンバーの動きによって進行具合が変わるものでした。我々も練習を行う上で、ある程度皆さんの推理力や考えを想定していたのですが、それを大幅に越え、予想以上に推理をされ、大変奮闘されていました。それだけストーリーに入り込み、謎を解きたい一心であったと思います。初めは個々で推理をされていましたが、そこからグループ内で話し合われ、そしてグループ間で意見交換されていました。一人の思いが徐々に大きく拡がり、時にはみんなを動かす時もありました。誰かの意見を純粹に受け入れられるみんなに感銘を受けました。そして、みんなの前で堂々と意見を伝える勇氣に感動しました。こうして、みんなの垣根を越える事で一つのキャンプが作り上げられている事を実感しました。
(竹中 哲郎)